

平成 22 年度以降に総務省において実施する主要な政策ごとの目標設定等について（平成 22 年度目標設定表）

分野	施策 (主要な政策)	下位レベルの施策	評価を行うに当たっての主な観点	参考										
国民生活と安心・安全	<p><b>【政策 17】</b> 一般戦災死没者追悼等の事業の推進</p> <p><b>【基本目標】</b> 先の大戦における一般戦災死没者の追悼等及びいわゆる三問題の労苦継承の円滑な推進</p> <p><b>【評価方式】</b> 総合評価方式</p> <p><b>【評価実施年度】</b></p> <table border="1"> <tr><td>H20</td><td>-</td></tr> <tr><td>H21</td><td>実施済</td></tr> <tr><td>H22</td><td>-</td></tr> <tr><td>H23</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>-</td></tr> </table> <p>(第3期基本計画期間中)</p>	H20	-	H21	実施済	H22	-	H23		H24	-	一般戦災死没者の慰霊事業の推進	<p>全国戦没者追悼式への一般戦災死没者遺族参列数</p> <p>【目標(値)：100名】 【目標年度：平成22年度】 【現況：84名(21年度)】</p>	一般戦災死没者遺族参列数(国費によるもの)は、慰霊事業の推進状況を表す観点から、過去の実績等を勘案して設定したものである。
		H20	-											
		H21	実施済											
		H22	-											
		H23												
H24	-													
<p>太平洋戦全国空爆犠牲者追悼平和祈念式への一般戦災死没者遺族参列数</p> <p>【目標(値)：90名】 【目標年度：平成22年度】 【現況：87名(21年度)】</p>														
<p>戦災に関する展示会の入場者数</p> <p>【目標(値)：950名】 【目標年度：平成22年度】 【現況：1,013名(平成21年度)】 過去5年間の平均では920名(平成17年度～21年度)</p>	戦災に関する展示会に係る指標は、戦災の状況を伝えるという展示会の趣旨の達成状況を表す観点から設定したものであり、過去の実績等を勘案して設定したものである。													
<p>戦災に関する展示会のアンケートにおける「非常によい又はよい」旨の回答の割合</p> <p>【目標(値)：80%】 【目標年度：平成22年度】 【現況：86.7%(21年度)】</p>														
<p>戦災に関する普及啓発資料の活用状況</p>														
<p>旧日本赤十字社救護看護婦等の慰労事業の推進</p>	<p>旧日本赤十字社救護看護婦等への書状贈呈数</p> <p>【目標(値)：50名】 【目標年度：平成22年度】 【現況：38名(平成21年12月末時点)】</p>	旧日本赤十字社救護看護婦等の慰労事業の推進状況を表す観点から、過去の実績及び対象者の高齢化等の状況を勘案して設定したものである。												

分野	施策 (主要な政策)	評価を行うに当たっての主な観点	参考
	下位レベルの施策		
		書状贈呈についての広報等による反響(問い合わせ件数)	
	平和祈念事業の推進	<p>平和祈念展示資料館及び展示会等の来場者数            【目標(値)：20,000名】            【目標年度：平成22年度】            【現況：19,796名】</p> <p>平和祈念展示資料館及び展示会等の来場者数の5カ年平均を算出し、その平均来場者数</p> <p>平和祈念展示資料館及び展示会等のアンケートにおける「よい、分かりやすい」旨の回答の割合            【目標(値)：80%】            【目標年度：平成22年度】            【現況：83.9%】</p> <p>平和祈念展示資料館及び展示会等の来場者のアンケートによる回答割合の5カ年平均を算出し、その平均回答割合</p>	<p>平和祈念事業は、いわゆる恩給欠格者、戦後強制抑留者、引揚者の方々などの労苦について理解を深めていただくことを目的としていることから、過去の実績等を勘案して設定したものである。</p> <p>(独立行政法人平和祈念事業特別基金は、平成22年9月末までに解散予定となっており、法人から今後引継ぐ事業は、平成22年10月から行う予定)</p>